

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災・災害時の地域住民との連携・役割の再確認(地域住民も高齢になってきた為) 備蓄食の補充	施設側と地域住民の協力体制を強化する。災害時、利用者の避難誘導する方法を全職員が身につける。	地域住民との話し合いをする機会を設ける。消防署立会いのもと、避難誘導等総合訓練を行う	3ヶ月
2	26	モニタリングについて、介護計画・目標達成が分かり難い。	介護計画・実践状況・目標達成を一連の流れで行い整合性を確認できるようにする。	ユニット会議で、介護計画・実践状況・目標達成を一連の流れを日々のケアについて意識付ける。	3ヶ月
3	6	現在、家族様の要望もあり安全性を考え玄関のみ施錠している。	施錠する事が当たり前ではない事を家族様・職員間で話し合う機会を持つ。	家族様との対話する機会を設ける。定期的な身体拘束についての研修を行う。	3ヶ月
4	8	権利擁護に関する制度を全職員が理解し、制度が必要な高齢者があった場合は支援できるようにする。	管理者以外の職員も施設外の研修等に参加し理解を深める。	権利擁護制度のを学ぶ機会を定期的に設ける。	3ヶ月
5	20	入居者様の馴染みの人や場所を把握しきれていない。	入居者様の馴染みの人や場所を把握する為に、アセスメントシートを細分化し把握できるようにする。	入居前・入居後を通して入居者様と対話・観察し、思いや意向を把握するよう職員に意識付けし、情報を共有できるようにする。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。